

図書館だより

＜2022年 冬号＞
千葉経済大学総合図書館

齊藤ゼミ ビブリオバトル

図書館では12月7日(水)にビジネスライフ学科 齊藤誠一先生のゼミ(専門ゼミⅠ・専門ゼミⅢ)のビブリオバトルが行われました。5人の参加者がそれぞれ自分のお気に入りの本を紹介し、優勝(チャンプ本)を競いました。

そして見事にチャンプ本となったのは、今季ブックツアーでも選書された「檸檬先生/珠川こおり著」です。

ビブリオバトルとは？

1人5分の持ち時間で本の紹介をする書評ゲームです。発表者は好きな本を1冊選んで紹介し、聴衆は「1番読みたいと思った本」に投票します。1番投票数の多かった1冊が優勝(チャンプ本)となります。



ビブリオバトルの様子

秋の学生ブックツアー

令和4年度秋季イベントとして、3年ぶりに書店でのブックツアーを開催しました。11名の学生選書委員が実際に本を手に取り、各自本を選びました。図書館カウンター前に専用コーナーがありますので、ぜひご覧ください。

【選書抜粋】

- ★ すけすけのりもの
- ★ りぼぐら！
- ★ これは経費で落ちません！〈3〉
- ★ このゲームにはゴールがない
- ★ さよならレター 余命365日の君へ
- ★ バナナの魅力を100文字で伝えてください
- ★ カメラはじめます！
- ★ 満月珈琲店
- ★ マスカレード・イブ



書店で本を選んでいる様子



先生が選んだおすすめの1冊

『会社法のツボとコツがゼッタイにわかる本(第二版)』

大越一毅 著

(経営学科 大島一輝 専任講師)

会社経営に関する法律として、ぜひ知っておきたいのが会社法である。株式、取締役、株主総会、企業買収など、経営に必要な知識を得ることができる。

会社法の解説書は、数多く出版されている。入門書、教科書、体系書など、種類も様々である。その中でも本書は、「取締役って何人いてもいいの?」「会計参与って実際置いている会社はあるの?」など、初学者が学習の過程で抱きやすい「素朴な疑問」を取りあげて丁寧に解説しているという特徴がある。

多くの会社法の解説書は、総論、株式、機関、計算……といったように、会社法の全体を体系的に分類して解説している。綺麗に整理されてはいるものの、ふと浮かぶ「素朴な疑問」を解決できず、うまく身につかないこともある。そこで、本書をあわせて読むことで、他の解説書とは違った視点で会社法を眺めることができ、知識の習得が促進されるだろう。

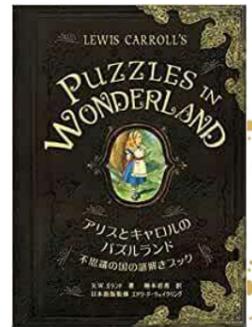
本書は、「第一章 会社を設立する場合」「第二章 中小企業の場合」「第三章 ベンチャーキャピタル等から出資を受ける企業の場合」「ミドルステージ」「第四章 上場企業の場合」「第五章 グループ会社の場合」「M&Aをする会社の場合」「第六章 会社を解散・清算・事業承継する場合」「第七章 その他」コレもおさえておこうの七章からなる。会社経営で直面する様々な場面を取りあげて、必要な会社法のルールを解説しており、会社法の使い方が実感できる構成になっている。



学生が選んだおすすめの一冊

『東大教授がおしえる忠臣蔵図鑑』 山本博文 監修
(経済学科 三年 渡邊 菜南)

皆さんは、十二月といえば何を連想しますか？
やはりクリスマスや大晦日などが多いと思います。
実は日本史にも、十二月の風物詩があるので。
それが「忠臣蔵」。一七〇二年の旧暦十二月十四日に、最も重要な場面である「討ち入り」が行われたことから、長い間年末の風物詩として親しまれてきました。ですが最近ではテレビなどでもあまり放送しなくなってしまうので、学生の皆さんの中には馴染みがない、そもそもどんな内容なのか知らない、という方も多いのではないのでしょうか。実際、私も二年ほど前まで全く知りませんでした。
しかし、いざ知ってみると忠臣蔵は史実でありながら、創作としてもとても面白い作品だとわかります。もっと色々な人に知って貰えないだろうか？と思う、私はこの本を選定しました。この本では、忠臣蔵の発端・討ち入りに至る経緯・関わった人物たちが可愛いイラスト付きで紹介されています。ですから忠臣蔵を知っている方はもちろん、忠臣蔵を知らない方でも読みやすい一冊だと思います。
忠臣蔵は、解釈によって見方が変わるお話でもあります。かつて生きてきた武士たちの姿を、多くの人に知っていただけたら嬉しいです。



『アリスとキャロルのパズルランド』
R. W. ガランド 著 楠本君恵 訳
(ビジネスライフ学科 一年 青木 愛華)

ルイス・キャロルの虜で、不思議の国のアリス大好き人間が、この本の魅力について三つ紹介します。
一つめは、この本は、まちがいさがし、頭を柔らかくして解くなどなぞ問題、数学的思考問題の三種類に分かれています。各種三段階の難しさに別れており、時間潰しや、じっくり解きたい人にオススメです。
二つめは、挿絵には原作の絵に色が付いたものが使用されています。原作ファンとしては問題が分からなくとも大変興奮するものとなっておりますので、謎解きが苦手な方でも、アリスの原作が好き、雰囲気が好きの方にもオススメです。
三つめは、主にアリスのキャラクターや物語の中で起こったことをベースに構成されています。問題がアリスの物語のどのシーンなのか想像しながら読むのもまた、幸せな時間になります。
アリスと一緒にワンダーランドを旅しているように思われる作品となっています。是非、この本を借りてルイス・キャロルの世界観を味わってください！

図書館貸出ランキング(2022.4.1~2022.12.31)

※貸出開始日が 2022.1.1~の図書

一般図書	文庫	絵本	就職・検定関連
1. 池上彰の行動経済学入門	1. スイート・ホーム	1. ちょっとだけ	1. エントリーシート&自己PRの教科書 これさえあれば
1. 「空腹」こそ最強のクスリ	1. 密室黄金時代の殺人	2. しろくまちゃんのほっとけーき	2. SPI 問題集決定版
1. ポジティブことば選び辞典	3. 消えない夏に僕らはいる	3. だるまさんと	3. これが本当の SPI3 だ!
4. 365 通りのストレス対処法	3. 孤島の鬼	4. だるまさんが	4. 保育士・幼稚園教諭採用試験問題集
4. なぜデジタル社会は「持続不可能」なのか	3. わたしの美しい庭	4. どんどこももんちゃん	4. いちばんやさしい IT パスポート



一般図書は同率1位が3冊ありました。春季ブックツアーで選ばれた本の貸出が、多かったようです。文庫は小説の中でも推理ものや青春ものなど、様々なジャンルの本がランクインしました。絵本は3位・4位の「だるまさんシリーズ」が多く貸出がありました。就職・検定関連はSPI関連の本の貸出が多かったです。